

令和6年8月28日から令和6年8月31日の台風10号の影響による 安岐ダム洪水調節の効果について

令和6年9月2日

【速報推計】

台風10号の影響により、安岐ダム流域では8月28日11時から雨が降り始め、30日18時までの総雨量は412mm、29日13時から14時までの1時間では85mmの雨を記録しました。

このため、安岐ダムでは29日12時14分に流入量が洪水流入量50m³/sに達し、その後激しい降雨が継続ことが予測されたため、29日14時30分より、「緊急放流」を開始した。流入量については29日14時16分に324.5m³/sの最大流入量を記録した。このときは緊急放流前であり、ダムからは85.0m³/sの流下となり、239.6m³/sをダムに貯留することによって安岐川の流下量を減少させました。

貯留量 123.1万m³（昭電ドーム0.65杯分）

その後、貯水位・流入量ともに低下していき、それ以降の流入量の増加は想定されないと判断し、29日17時10分に緊急放流の終了を行った。また同時に、洪水流入量50m³/sまで減少しました。

今回の洪水調節により、安岐中央橋地点において、最大で河川水位を約0.60m低減させたと思われます。



※上記写真は今回の状況ではありません

問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

担当: 森下、狩生、渡邊

大分県 国東土木事務所

電話 (0978)72-1321

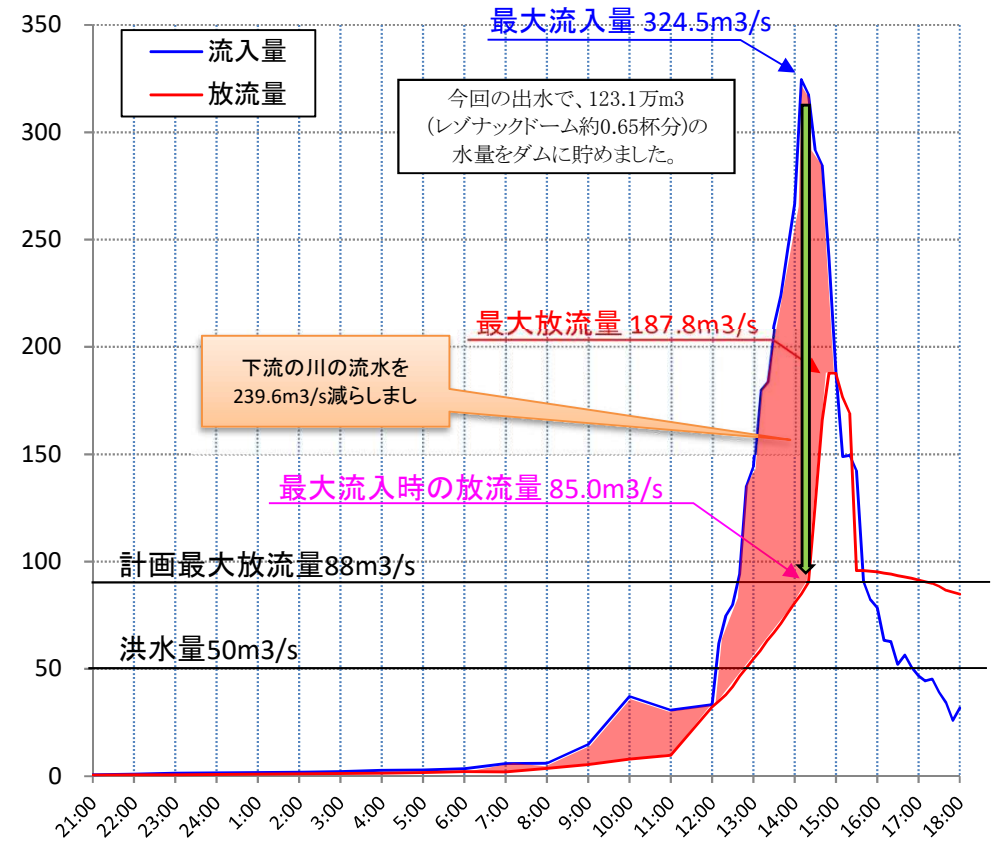
担当: 田川、赤野、山元

令和6年8月28日から令和6年8月31日の台風10号の影響による 安岐ダム洪水調節の効果について

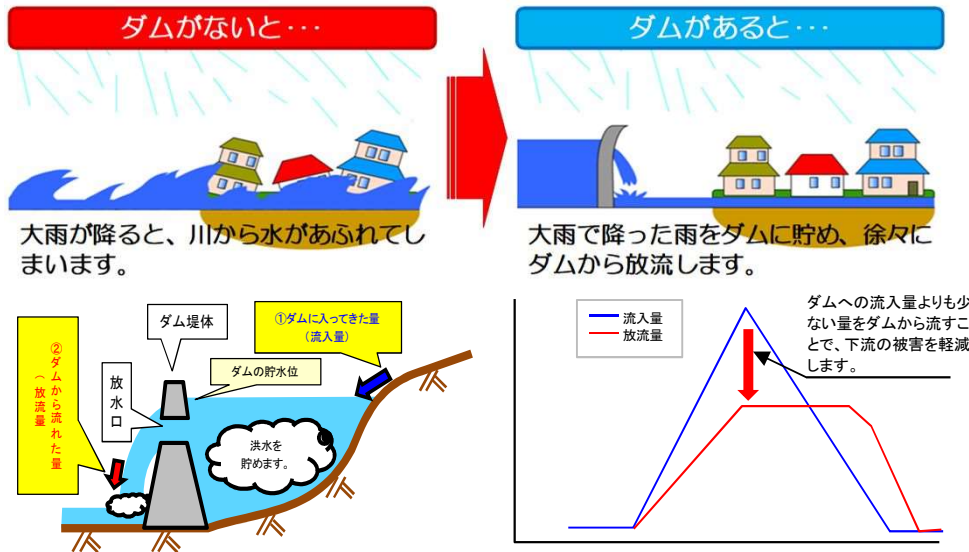
【安岐ダム位置図】



【洪水調節実績図(速報値)】



【ダムの治水効果】



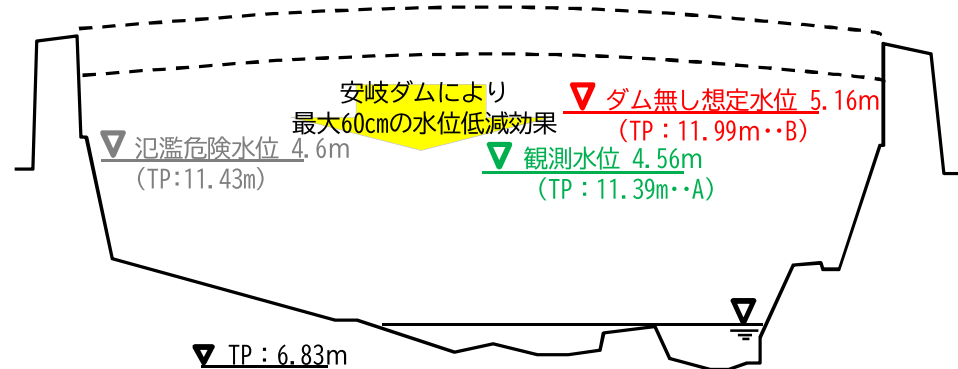
最大流入量 324.5m³/sのうち85.0m³/sを下流に流し、239.6m³/sをダムに貯めました。

令和6年8月28日から令和6年8月31日の台風第10号の影響による 安岐ダム洪水調節の効果について

安岐ダム最大調節時における水位低減効果比較

【 推定水位計算書 】

箇所 国東市安岐町 安岐中央大橋地点



令和6年8月28日～29日の台風10号の影響による 行入ダム防災操作の効果について

【速報推計】

台風10号の影響により、行入ダム流域では、8月28日10時から降り始め、29日19時までの総雨量は356mmを記録し、時間最大雨量は、88mmを記録した。

このため、行入ダムでは、29日13時10分に流入量が20m³/sに達し、29日14時00分には最大流入量102.55m³/sを記録した。この時ダムより9.12m³/sの流下となり、93.43m³/sをダムに貯留することで田深川の流下量を減少させました。

今回の洪水では、行入ダムで流下量を減少させたことで、下流国東町市街地の丹過橋水位観測所では約52cm水位を低下させたものと推測しています。



※上記写真は今回の状況ではありません

問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4596(直通)

担当: 森下、狩生、渡邊

大分県 国東土木事務所

電話 (0978)72-1321

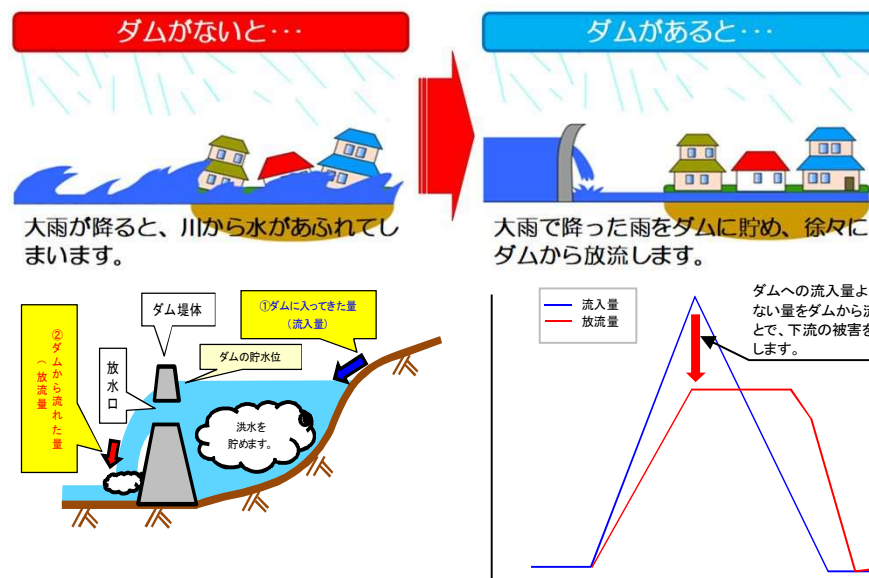
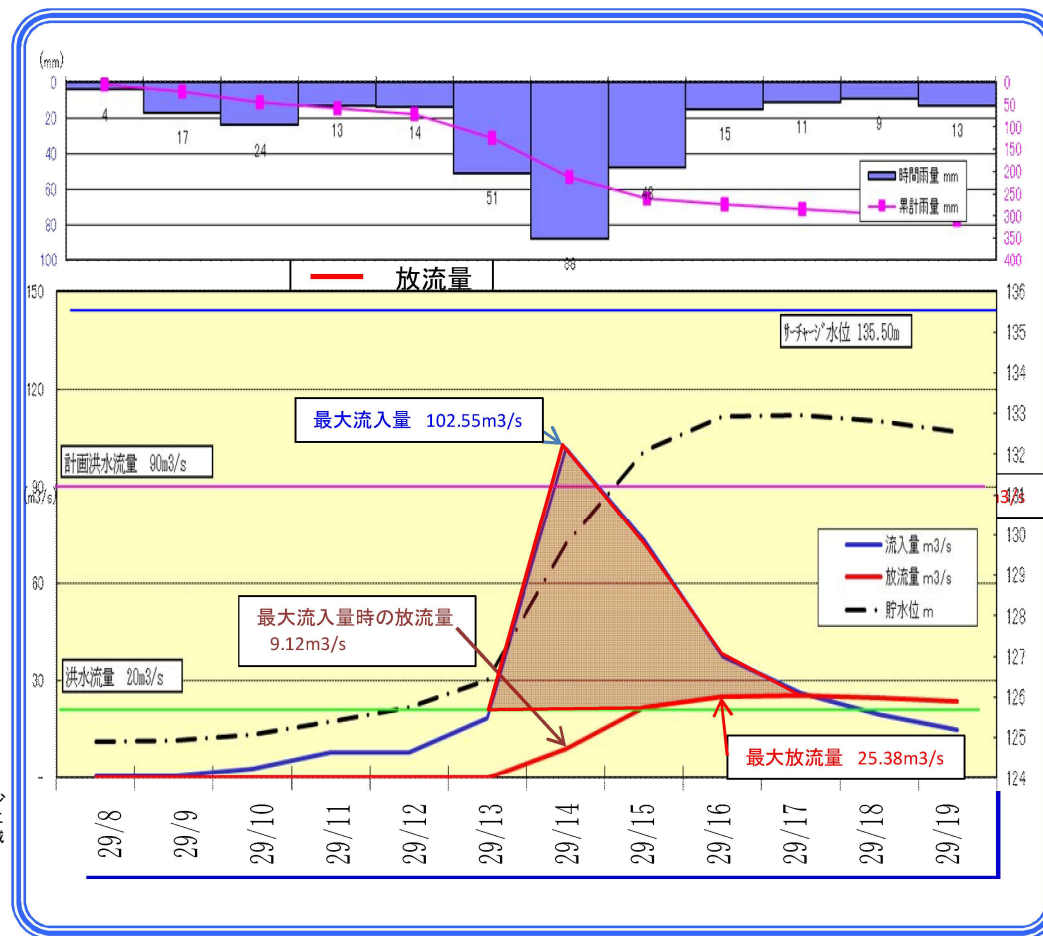
担当: 佐藤、奥村、石井

令和6年8月28日～29日の台風10号の影響による 行入ダム防災操作の効果について

【行入ダム位置図】



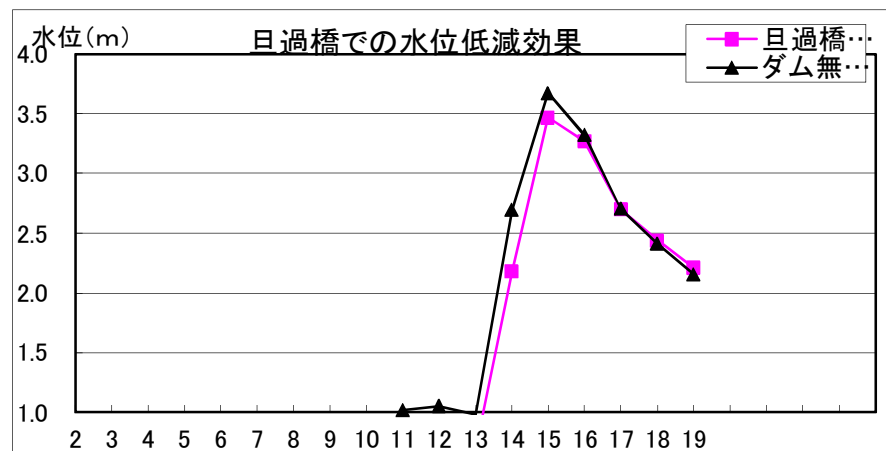
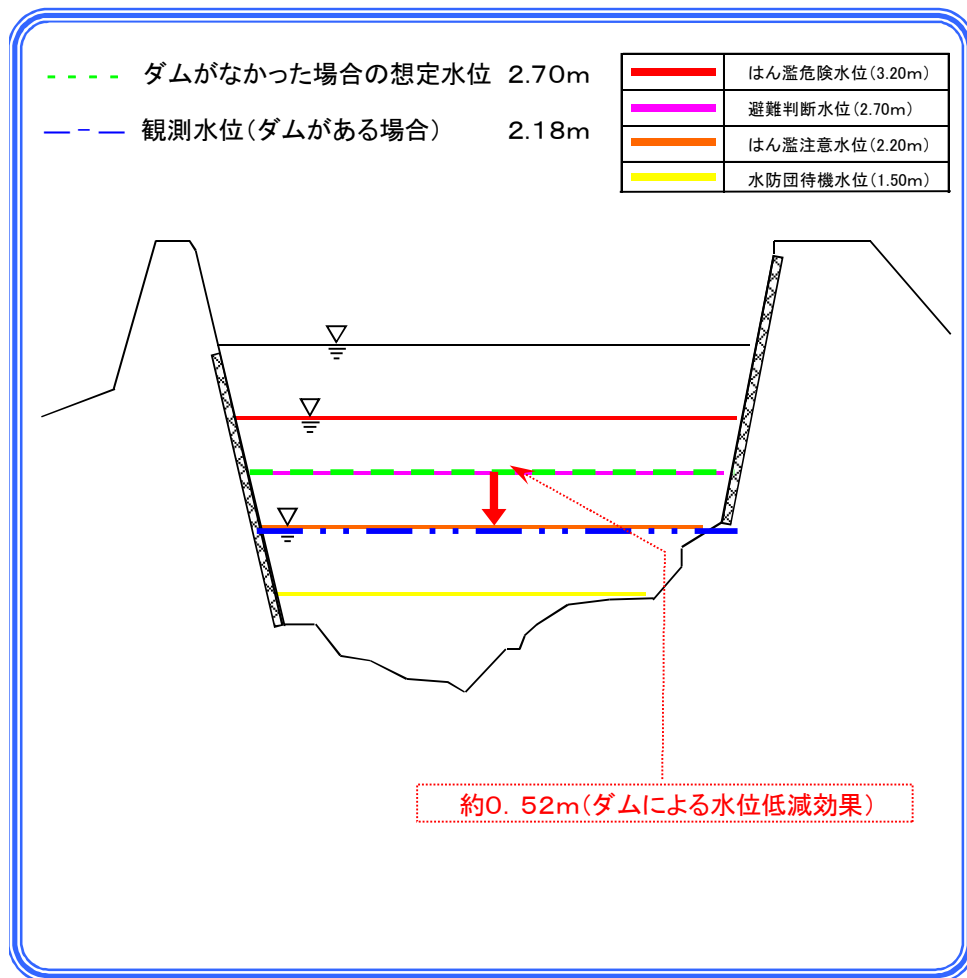
【洪水調節実績図(速報値)】



最大流入量102.55m³/sのうち、93.43m³/sをダムに貯留し、9.12m³/sを放流

令和6年8月28日～29日の台風10号の影響による 行入ダム洪水調節の効果について

【 巨過橋地点(国東町)での洪水調節効果 】



令和6年8月27日～29日の台風10号の影響による 床木ダム洪水調節の効果について

令和6年8月29日

【速報推計】

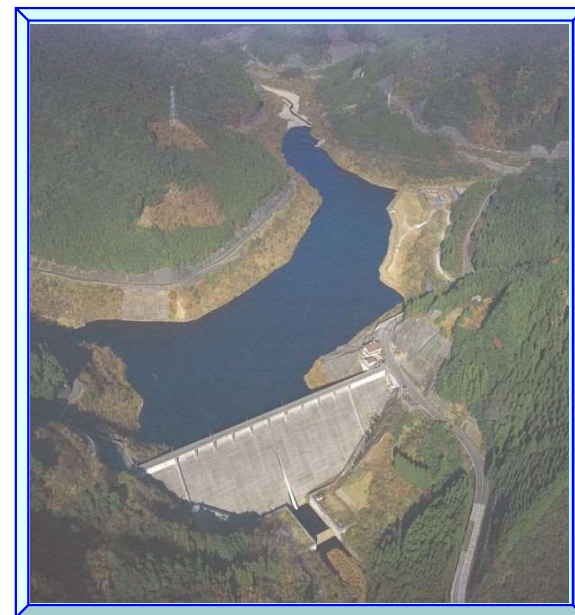
8月27日午後3時より降り出した雨により、ダムへの流入量は増加し、28日21時には降り始めからの累計雨量168mmで、流入量14.3m³/sに、29日10時47分には流入量が洪水量40m³/sに達しました。

その後、流入量が急速に増加し、29日12時45分には最大流入量116.3m³/sを記録しました。

その後、流入量は減少をはじめ、15時に75.8m³/s、16時43分には洪水量の40m³/sまで減少しました。

総雨量は27日午後3時から29日16時43分までで501mmでした。

今回の洪水調節により、下流河川(合流点付近)において、河川水位を約1.75m低減させたと思われます。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

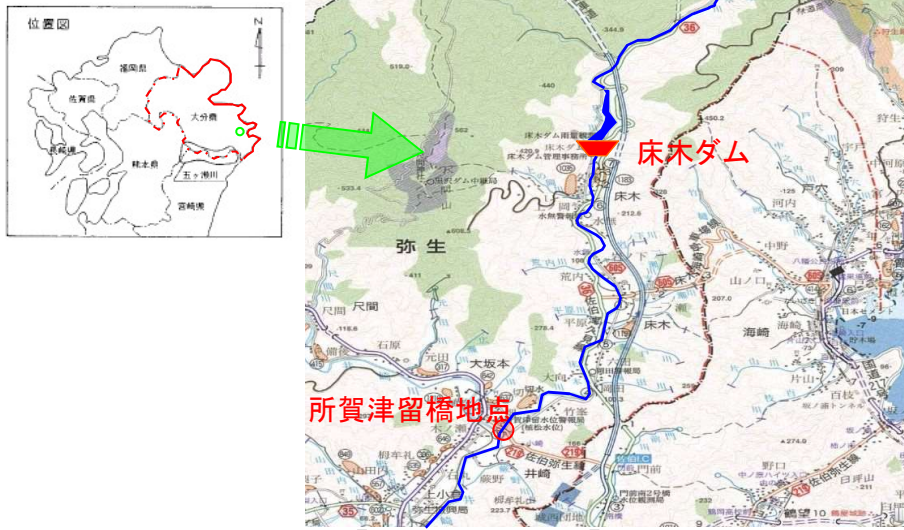
電話 (097)506-4596(直通)

大分県 佐伯土木事務所 河港砂防課 河川港湾班

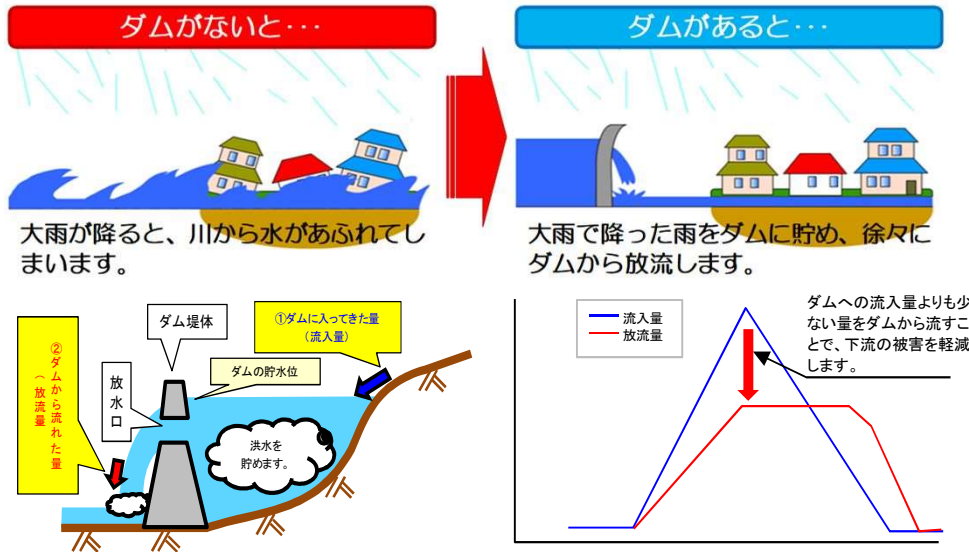
電話 (0972)22-3171

令和6年8月27日～29日の台風10号の影響による 床木ダム洪水調節の効果について

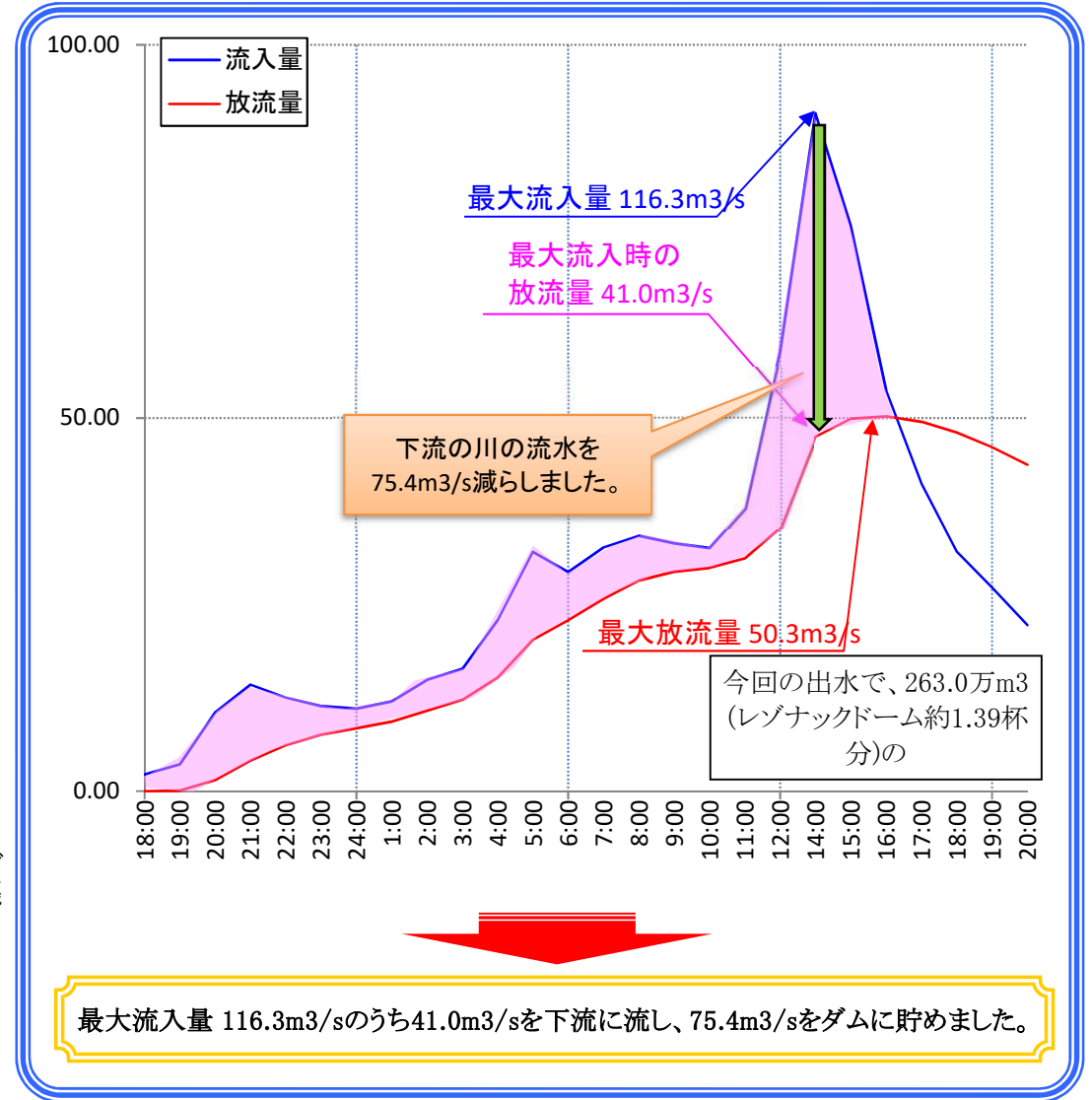
【床木ダム位置図】



【ダムの治水効果】

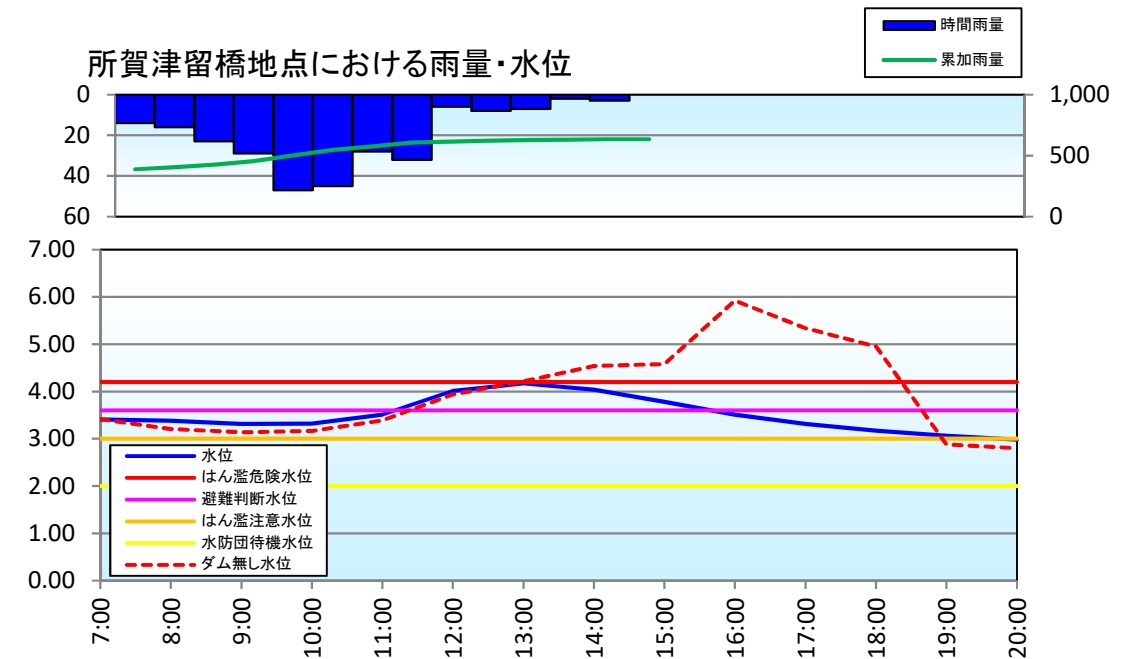
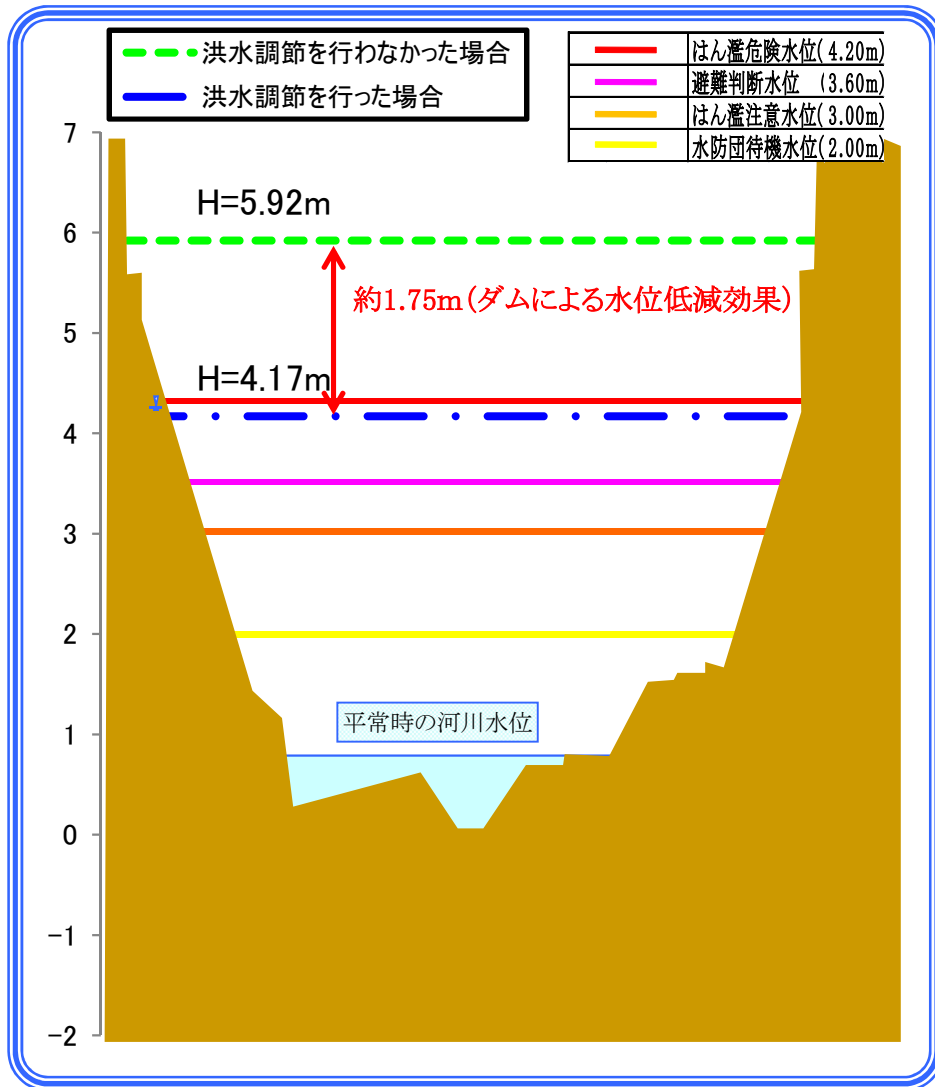


【洪水調節実績図（速報値）】



令和6年8月27日～29日の台風10号の影響による 床木ダム洪水調節の効果について

【 佐伯市 所賀津留橋地点の河川水位比較 】



(ダム無し水位はおおよその推定です。)



令和6年8月27日～29日の台風10号による 黒沢ダム洪水調節の効果について

令和6年8月30日

【速報推計】

強い台風第10号の接近に伴い、黒沢ダム流域では8月26日16時から雨が降り始め、30日9時までの累計雨量は黒沢ダム観測所で621mmに達しました。

このため、黒沢ダムは流入量が80m³/sに達した29日6時00分より洪水調節を開始し、11時47分には最大流入量152.7m³/sを記録したため、99.8m³/sの放流により河道流量を最大52.9m³/s減少させました。

今回の黒沢ダムの洪水調節により、168.2万m³(昭和電工ドーム0.89杯分)貯留し、下流佐伯市長良堅田橋地点では、もし黒沢ダムが無かった場合は、今回のピーク水位が0.13m程度更に高かったものと推測されます。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

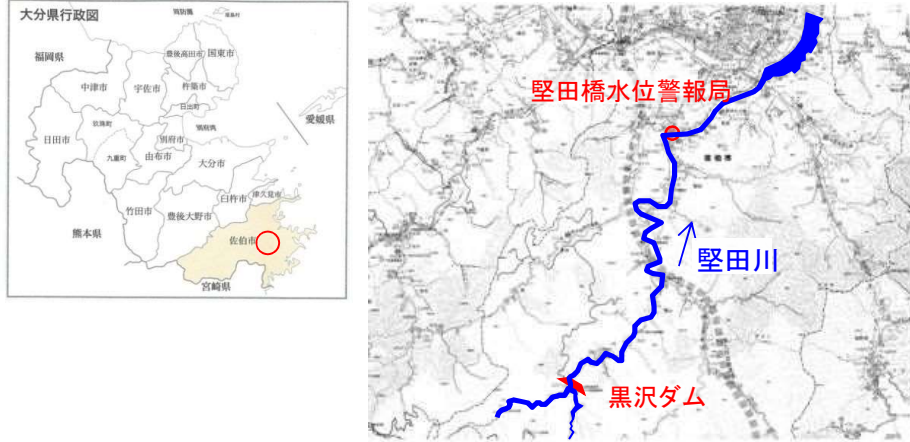
電話 (097)506-4596(直通)

大分県 佐伯土木事務所 河港砂防課 河川港湾班

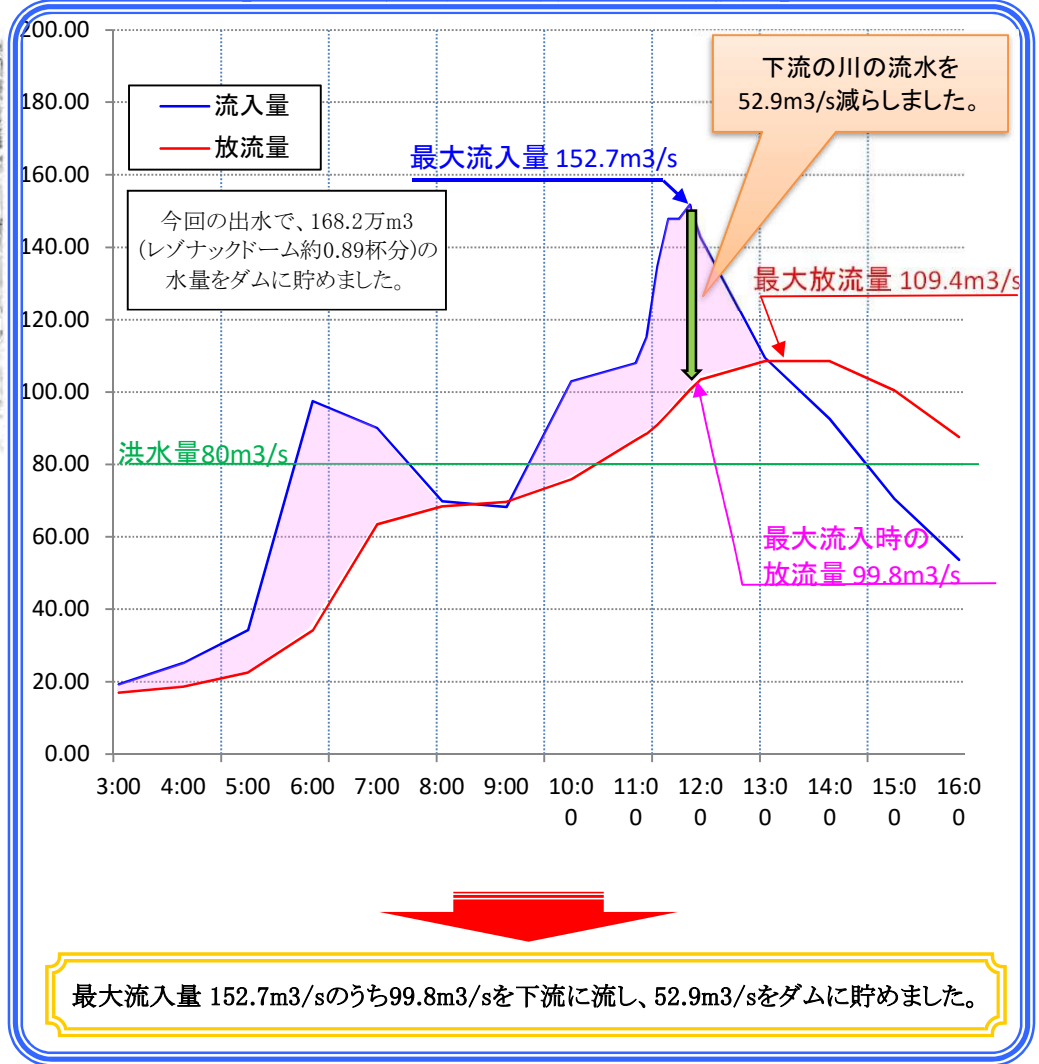
電話 (0972)22-3171

令和6年8月27日～29日の台風10号による 黒沢ダム洪水調節の効果について

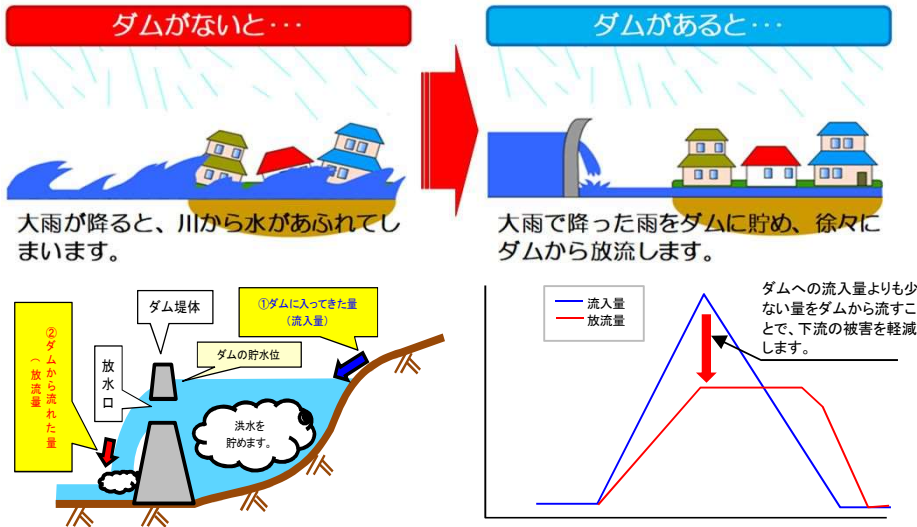
【黒沢ダム位置図】



【洪水調節実績図(速報値)】

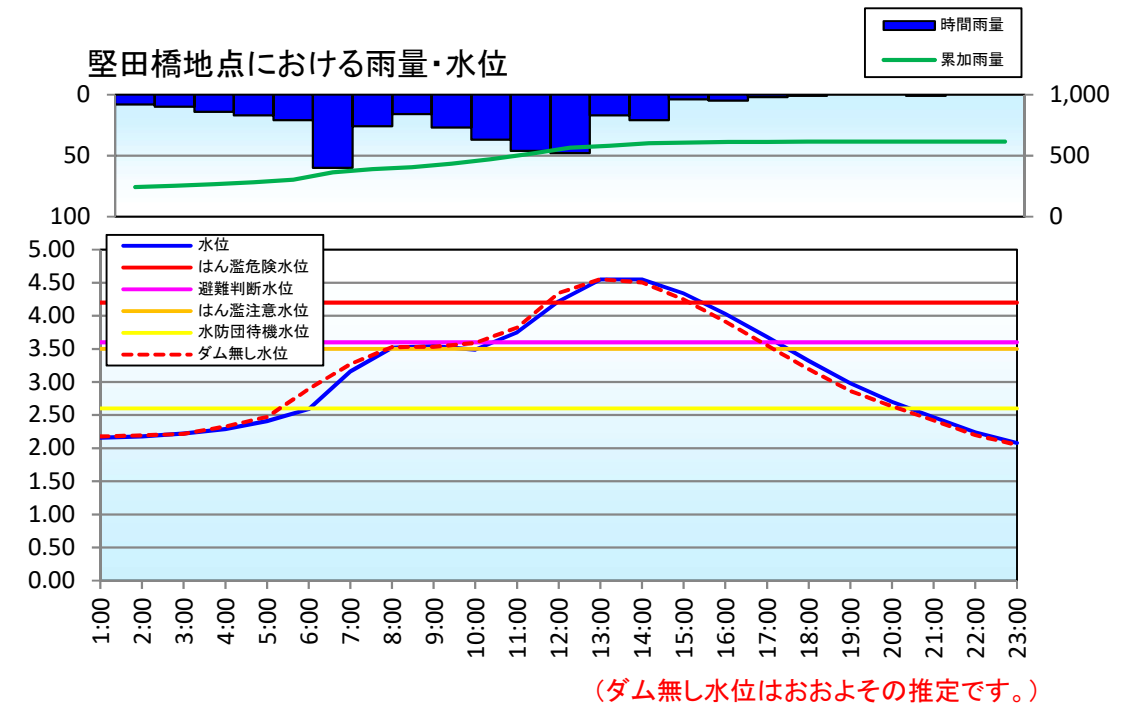
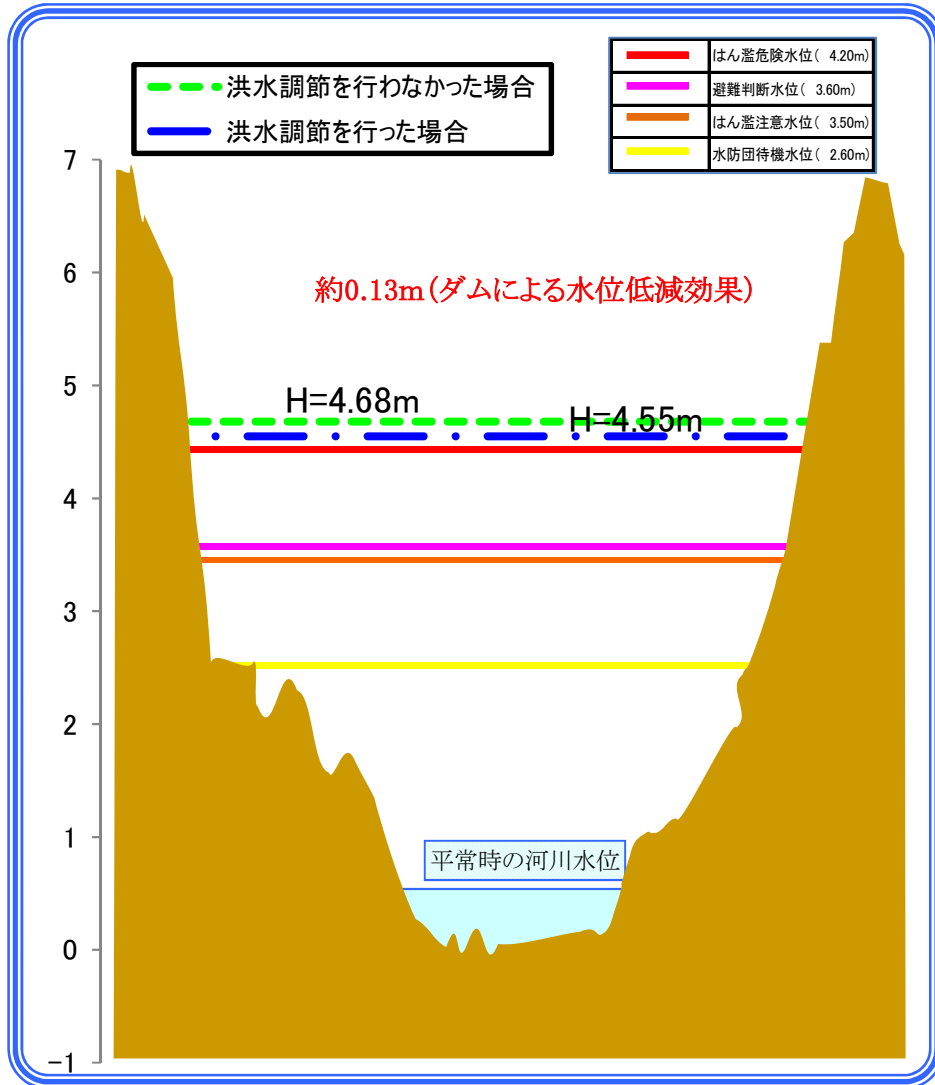


【ダムの治水効果】



令和6年8月27日～29日の台風10号による 黒沢ダム洪水調節の効果について

【 佐伯市大字長良 堅田橋地点の河川水位比較 】



令和6年8月29日～30日の台風10号の影響による 青江ダム洪水調節の効果について

令和6年8月30日

【速報推計】

台風10号の通過により、青江ダム流域では8月26日16時頃から雨が降り始め、30日14時までの累計は512mmに達しました。

このため、青江ダムは流入量が30m³/Sに達した29日11時24分より洪水調節を開始しました。

29日23時00分には、最大流入量46.6m³/Sに対し、放流量は22.3m³/Sであり、河道流量を24.3m³/S減少させました。

今回の洪水では、青江ダムによる河道流量を減少させたことにより、津久見市の地蔵町(桜ヶ瀬水位観測所)で約0.18m水位を低下させたものと推測しています。



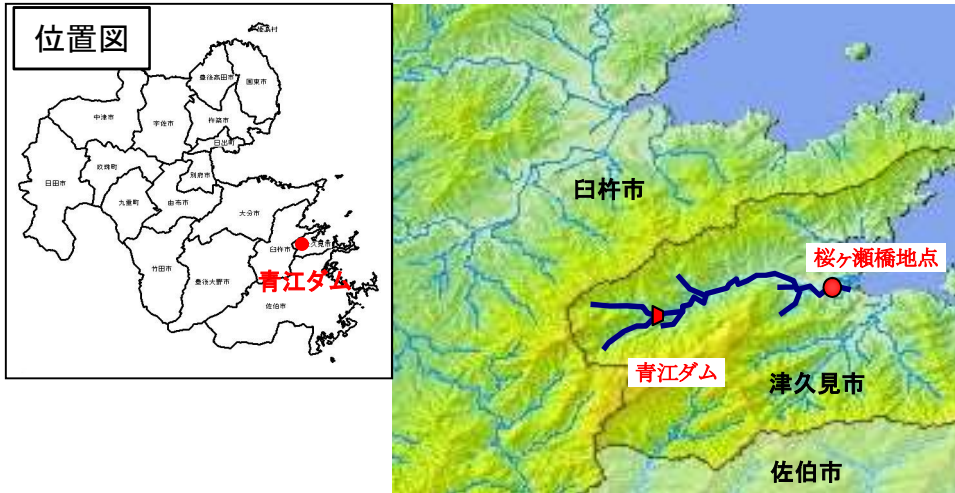
問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班
電話 (097)506-4596(直通)

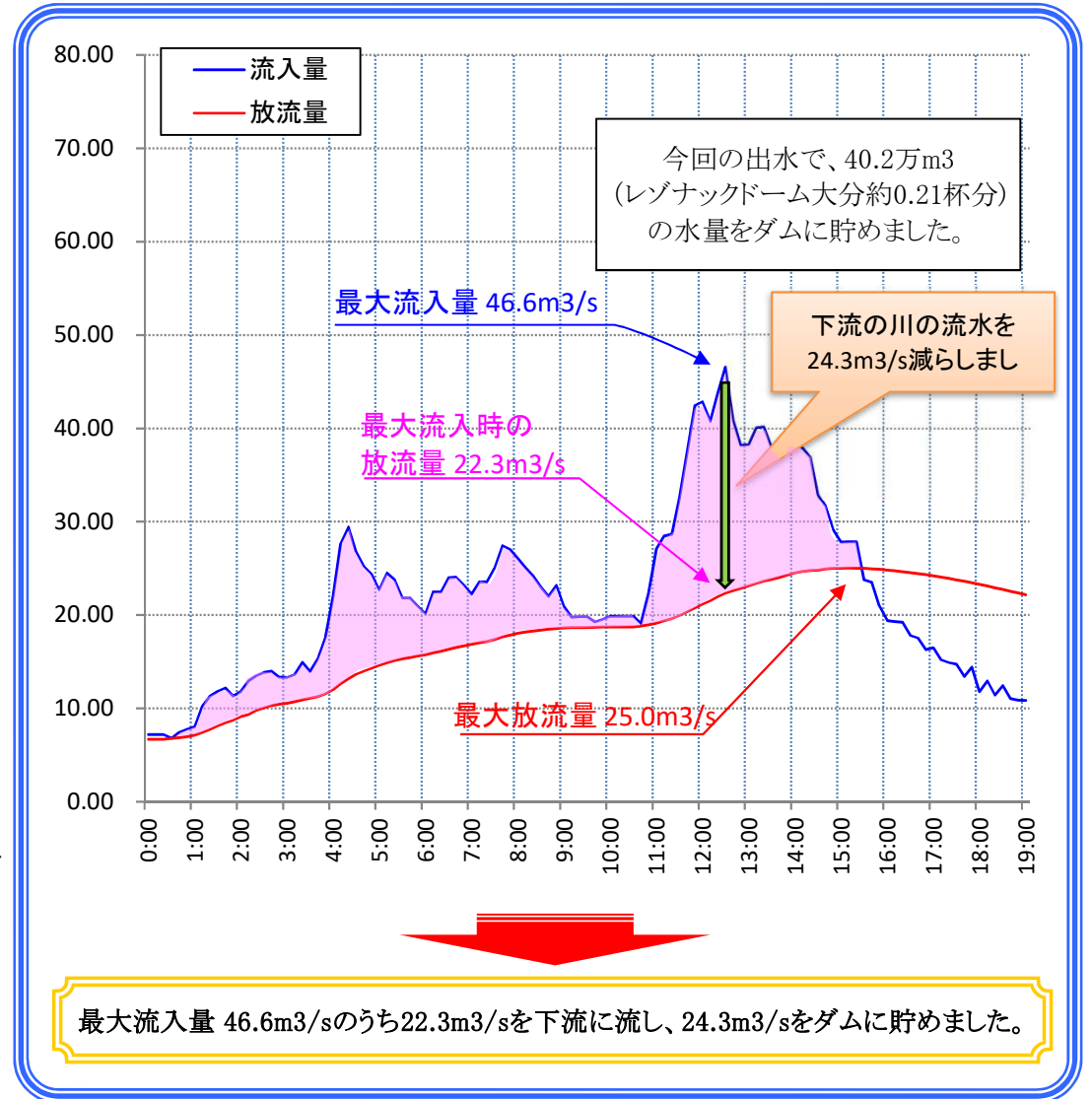
大分県 白杵土木事務所 河川砂防班
電話 (0972)63-4136

令和6年8月29日～30日の台風10号の影響による 青江ダム洪水調節の効果について

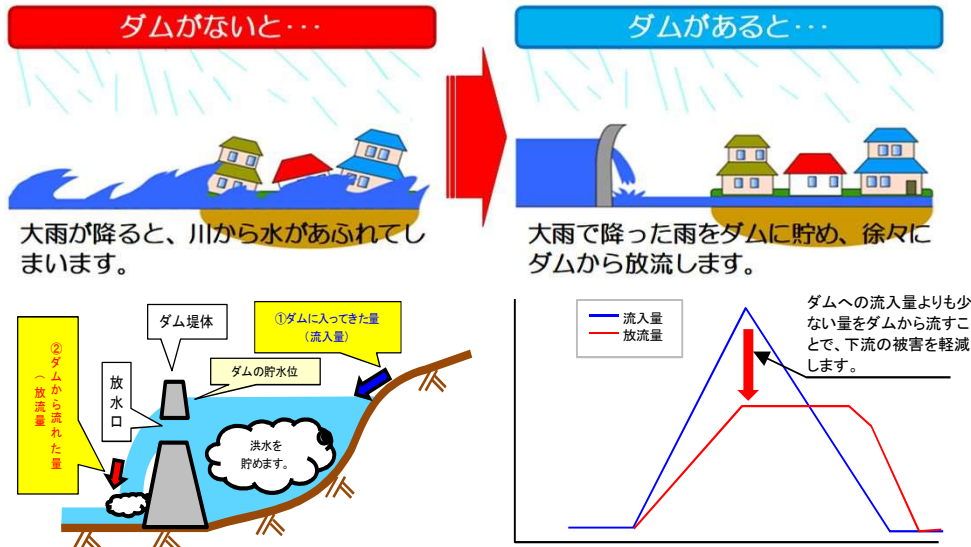
【青江ダム位置図】



【洪水調節実績図(速報値)】

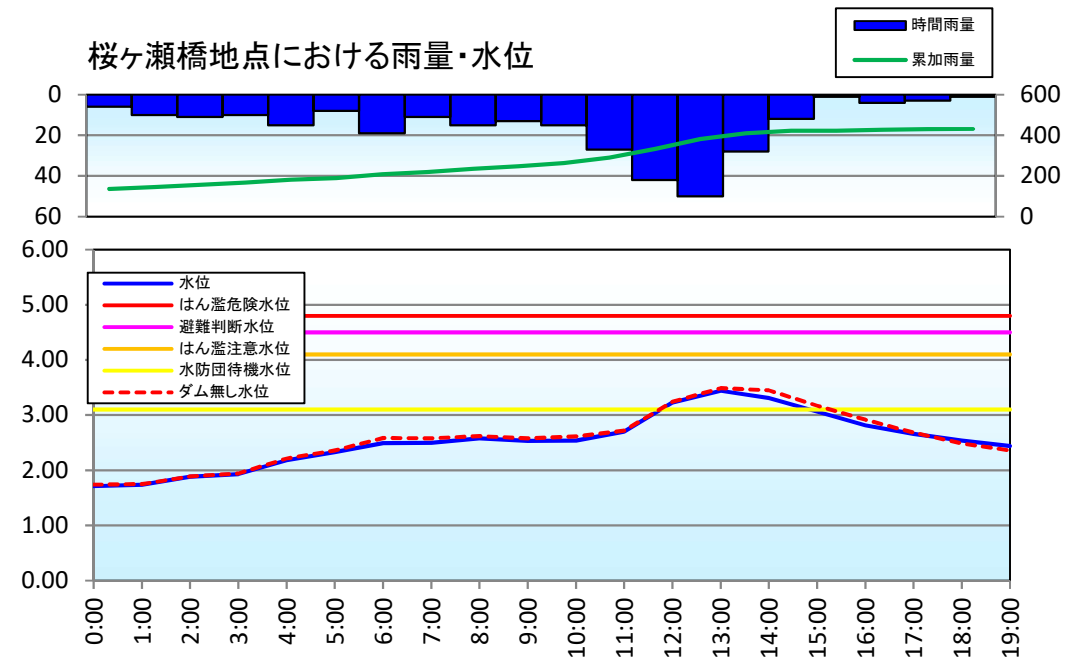
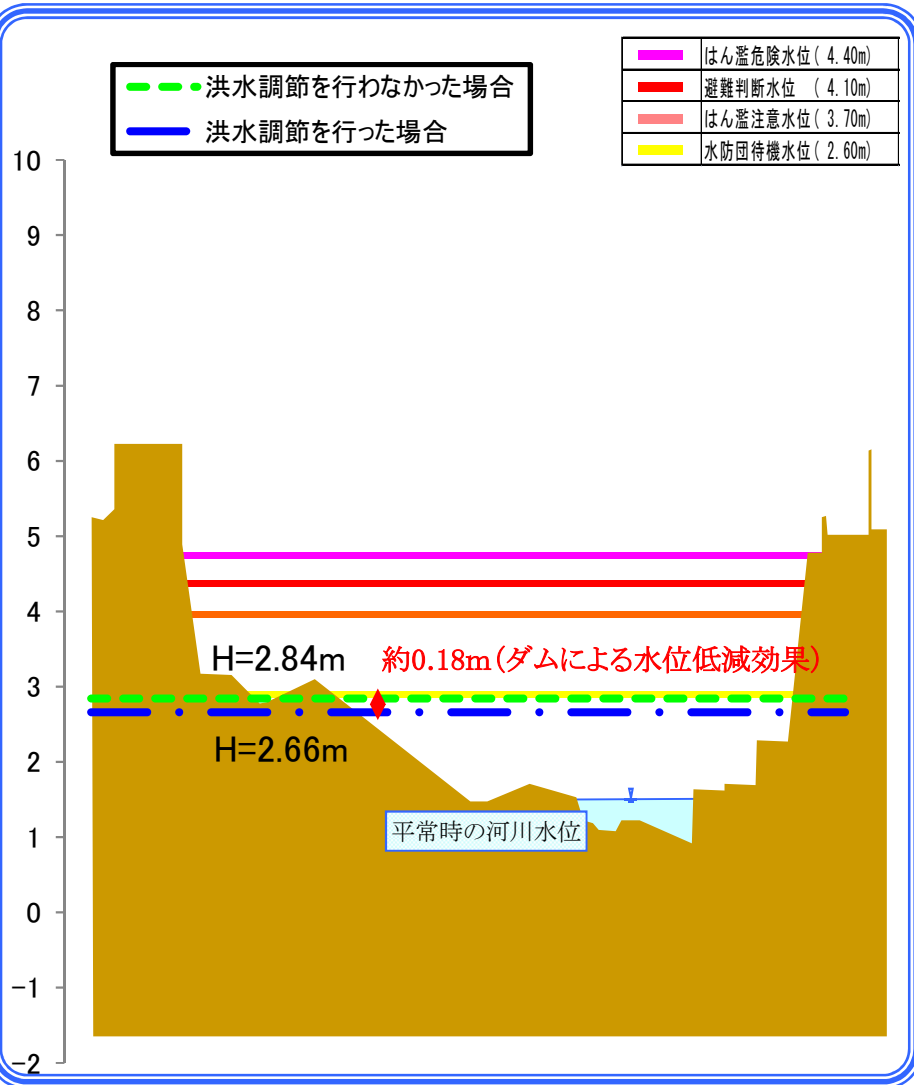


【ダムの治水効果】



令和6年8月29日～30日の台風10号の影響による 青江ダム洪水調節の効果について

【 津久見市大字下青江 桜ヶ瀬橋地点の河川水位比較 】



(ダム無し水位はおおよその推定です。)



令和6年8月29日の台風第10号の影響による 野津ダム洪水調節の効果について

令和6年8月30日

【速報推計】

8月28日早朝より降り出した雨により、ダムへの流入量は暫時増加し、29日5時50分には洪水量11m³/sに達しました。
更に流入量は徐々に増加し、29日6時30分には最大流入量20.2m³/sを記録しました。
その後、流入量は減少をはじめ、13時30分には洪水量の11m³/sまで減少しました。
今回の洪水調節により、下流河川(合流点付近)において、河川水位を約0.36m低減させたと思われます。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4596(直通)

大分県 白杵土木事務所 河川砂防班

電話 (0972)63-4136

令和6年8月29日の台風第10号の影響による 野津ダム洪水調節の効果について【演習】

【洪水調節実績図（速報値）】



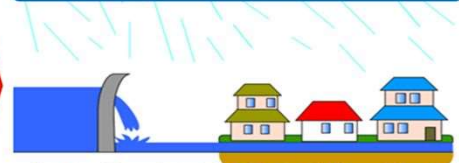
【ダムの治水効果】

ダムがないと...

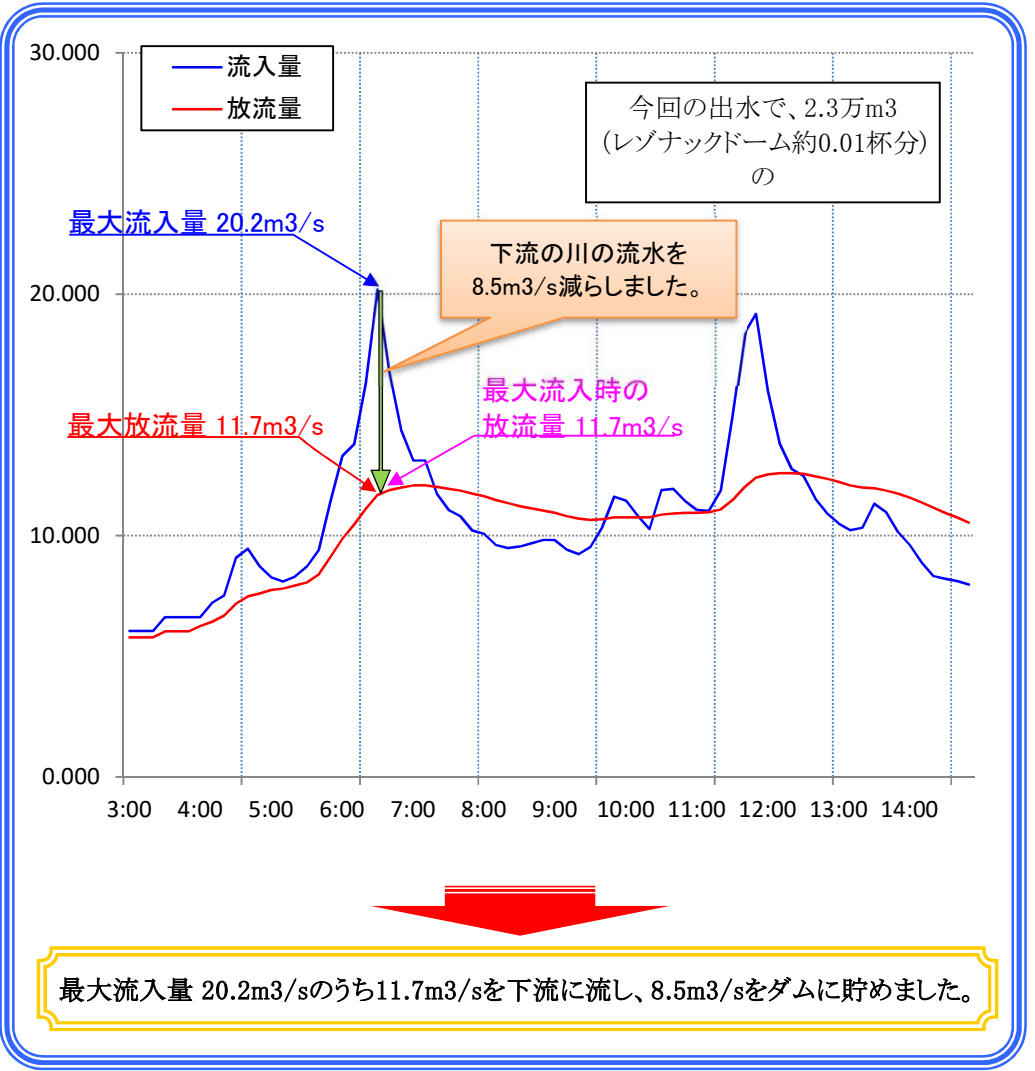
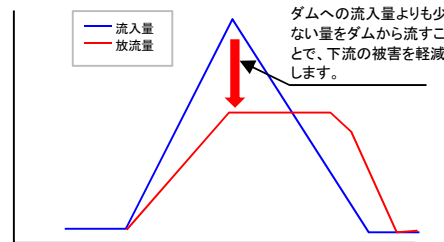
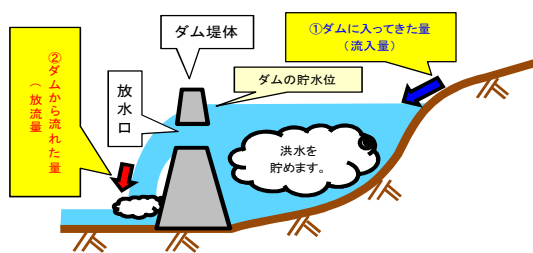


大雨が降ると、川から水があふれてしまいます。

ダムがあると...

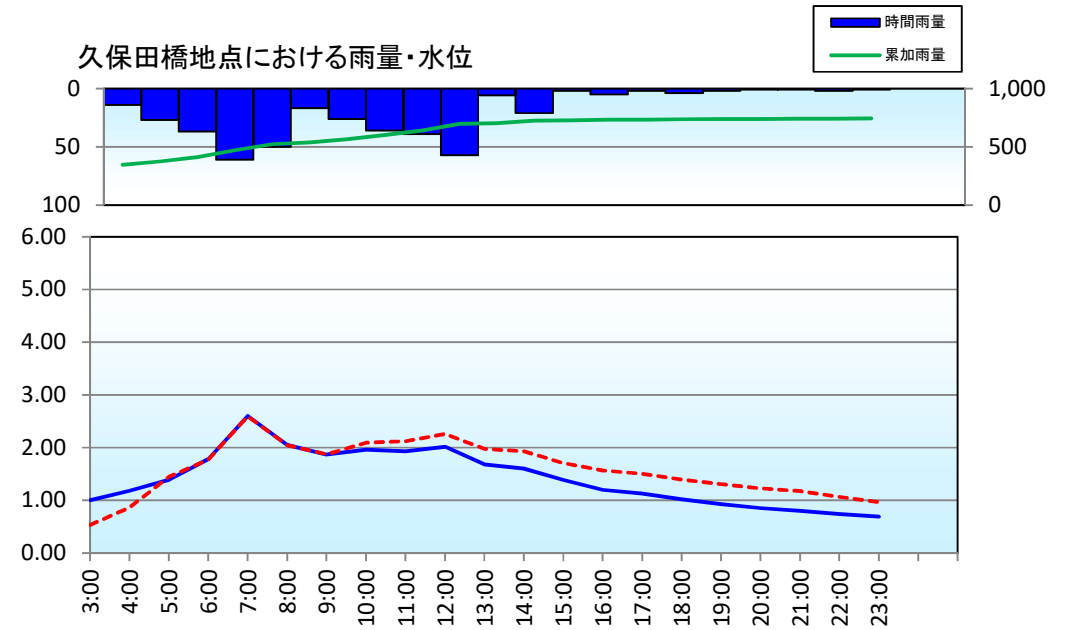
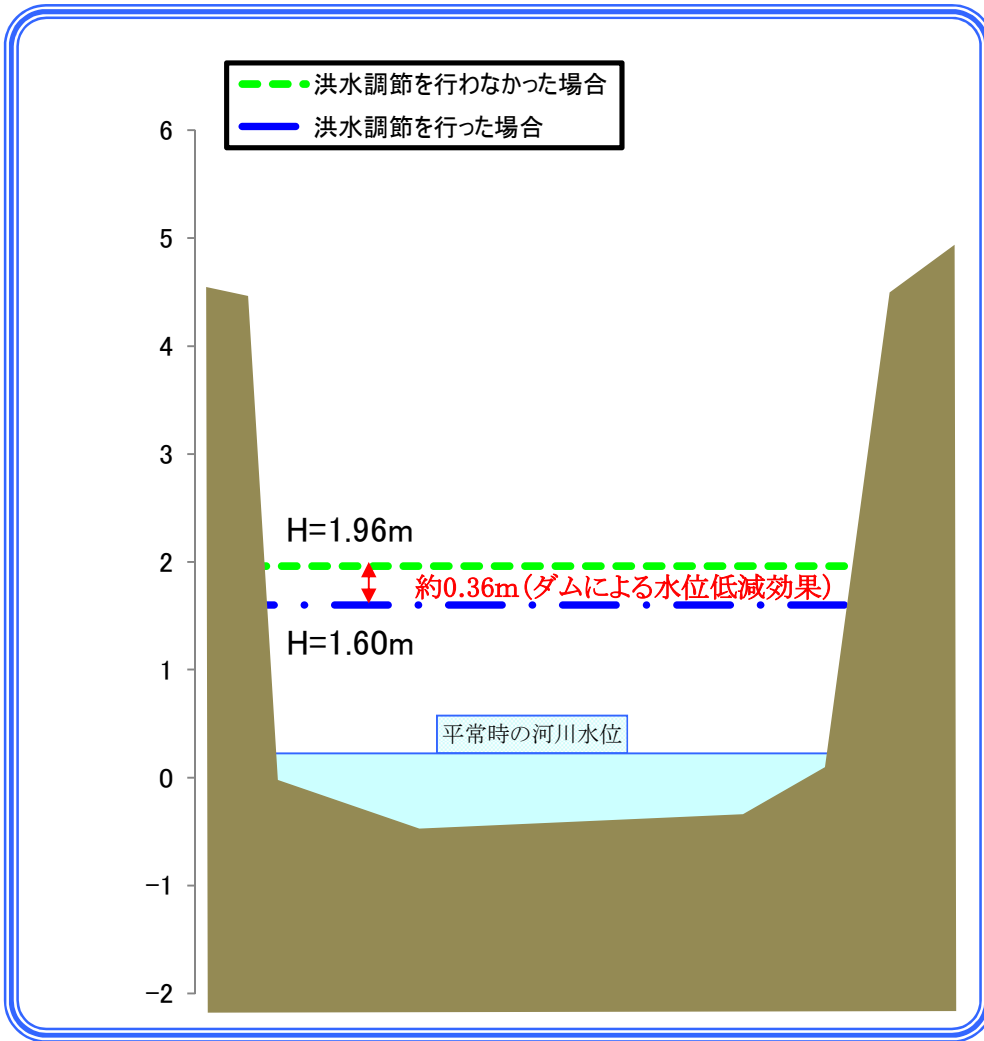


大雨で降った雨をダムに貯め、徐々にダムから放流します。



令和6年8月29日の台風第10号の影響による 野津ダム洪水調節の効果について

【臼杵市野津町久保田橋地点(野津川合流点)の河川水位比較】



(ダム無し水位はおおよその推定です。)



令和6年8月26日～29日の台風第10号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

令和6年8月30日

【速報推計】

南の海上で発生した台風10号は、勢力を強めながらゆっくりと北上、北側に停滞する前線を刺激し、北川ダム地点において8月26日16時から雨が降り始めました。

28日22時までに累計231mmの降雨があり、22時31分には洪水量200m³/sに達し防災操作を開始。

その後も流入量は増加し、29日11時20分には最大の1267.44m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量970.83m³/sで、ダムに流れこんだ水量の約30%にあたる、296.6m³/sをダムに貯めました。

また、流量予測から緊急放流の可能性ありとして29日10時に緊急放流3時間前のお知らせをしていましたが、予測降水量の減少等により、緊急放流は実施しませんでした。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、29日22時29分には流入量が洪水量200m³/s以下に低下となり防災操作を終了しました。

総雨量は降り始めの8月26日16時から8月29日22時までに、603mmで時間最大雨量は、29日5時の42mmでした。

今回の防災操作により、下流河川(熊田橋地点)において、河川水位を約0.59m低減させたと推測しています。



令和6年8月29日11時41分撮影

問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

電話 (097)506-4595(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 北川ダム管理支所

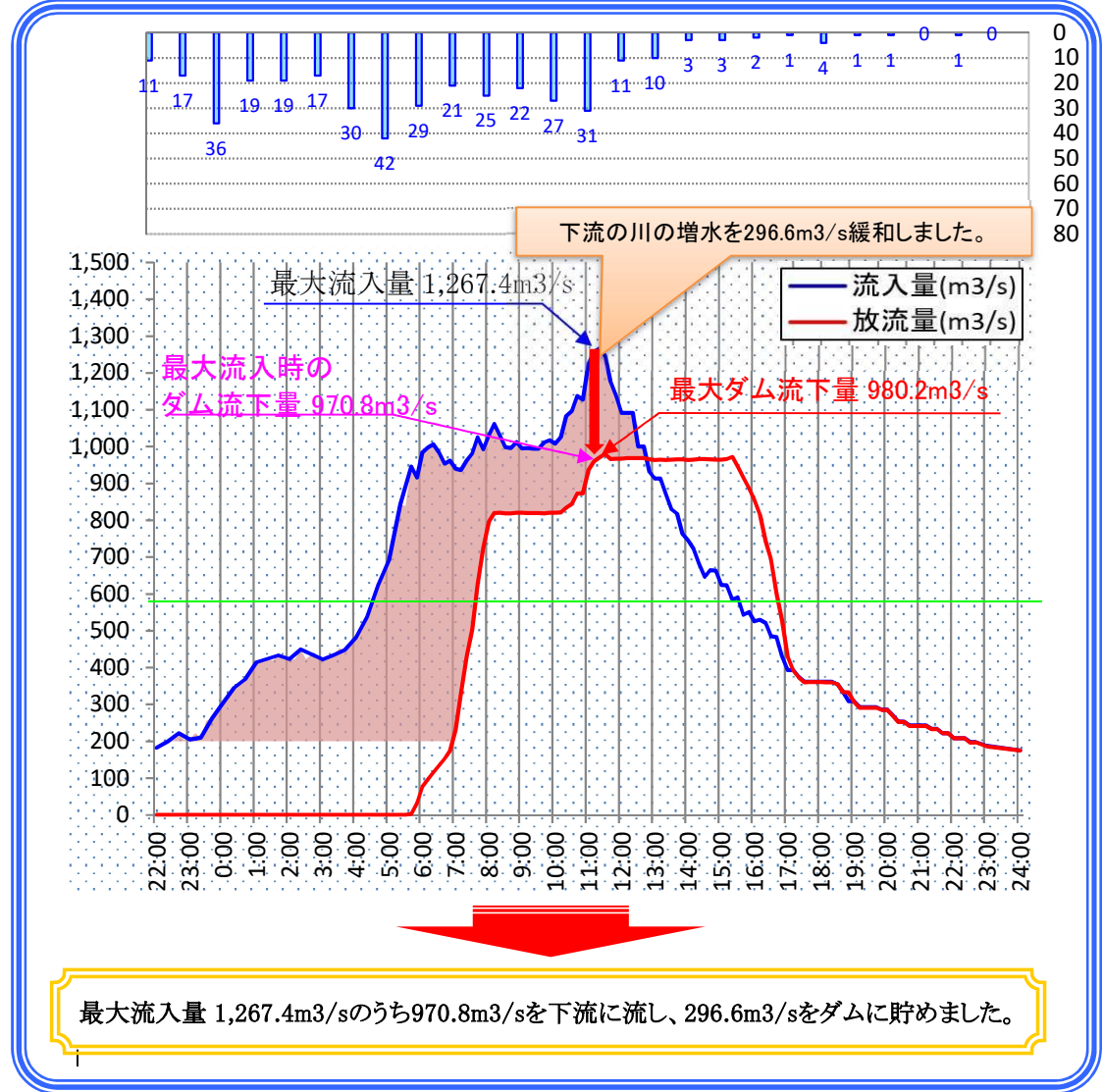
電話 (097)597-6890

令和6年8月26日～29日の台風第10号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

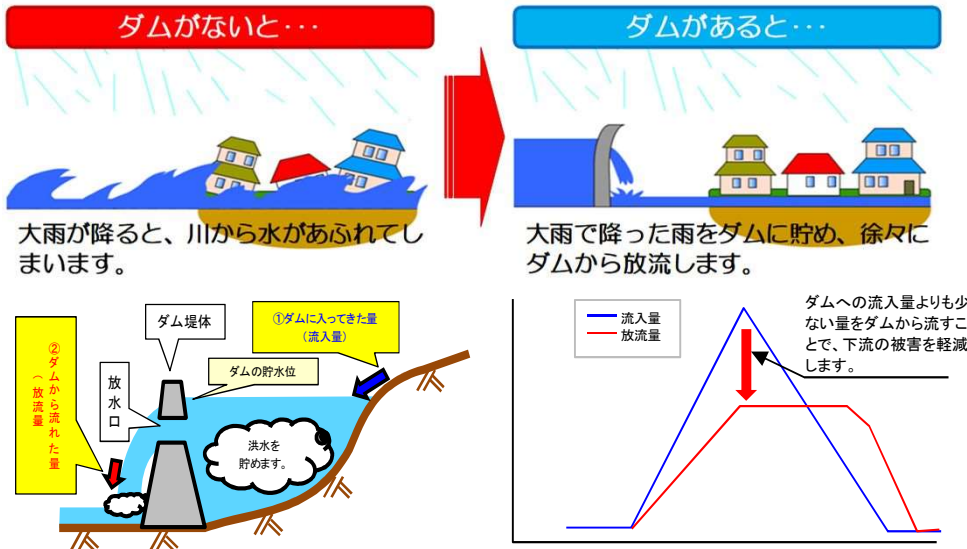
【北川ダム位置図】



【防災操作実績図(速報値)】

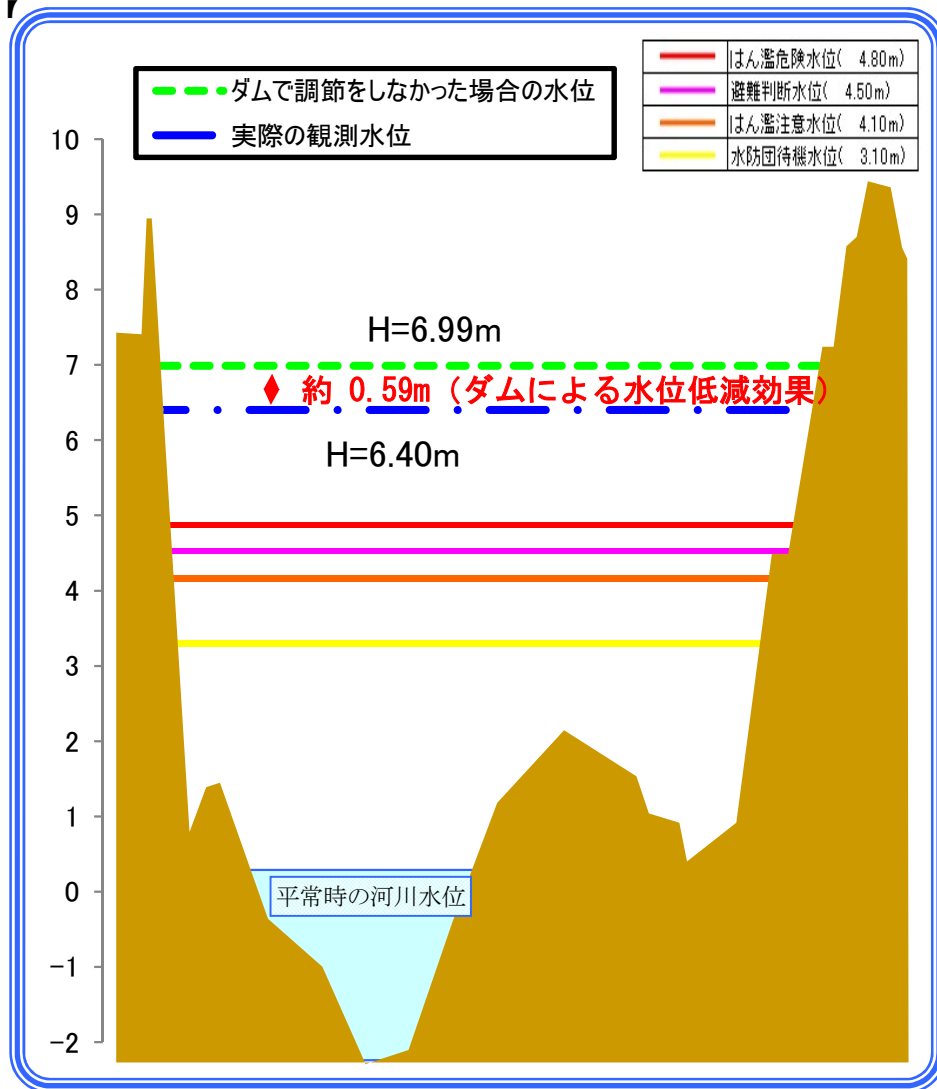


【ダムの治水効果】

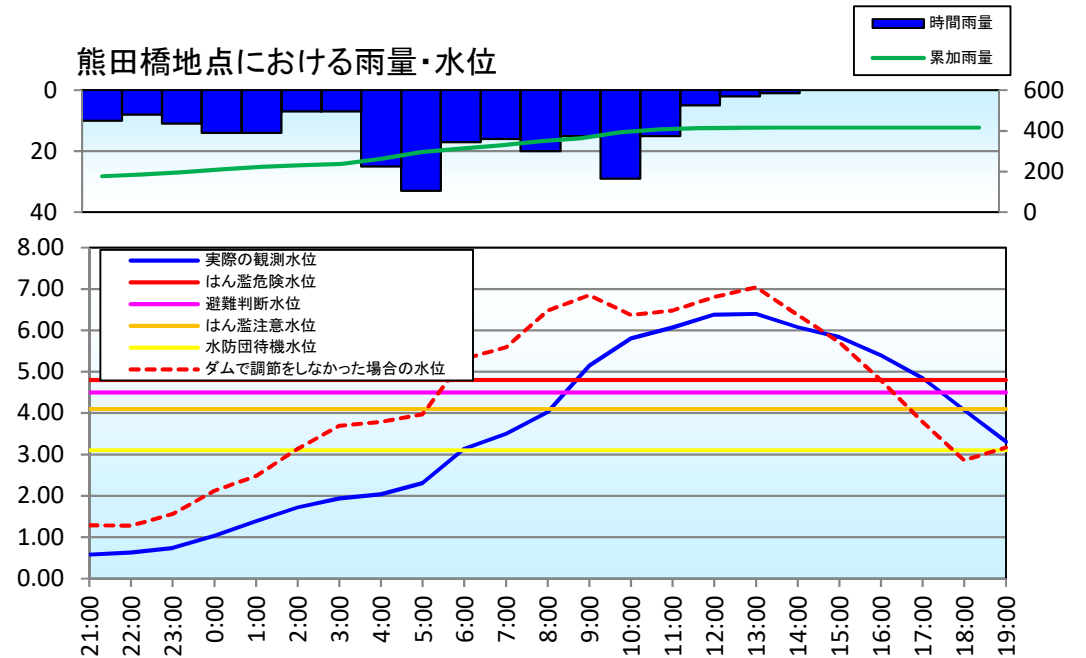


令和6年8月26日～29日の台風第10号の影響による 北川ダム防災操作の効果について

【 延岡市北川町 熊田橋地点(北川、小川合流点)の河川水位比較 】



熊田橋地点における雨量・水位



(ダムで調節をしなかった場合の水位はおおよその推定です。)



令和6年8月26日 ～ 29日の梅雨前線豪雨の影響による 芹川ダム洪水調節の効果について

令和6年8月29日

【速報推計】

台風10号の接近に伴い、26日17時から雨が降り始め29日13時までに累計309.4mmの降雨があり、5時43分には洪水量150m³/sに達したため洪水調節を開始しました。

その後も流入量は増加し、29日6時30分には最大流入量の278.39m³/sに達しました。その時点でのダムからの放流量は108.51m³/sであり、ダムに流れ込んだ水量の約61%にあたる、169.88m³/sをダムに貯めました。

その後、降雨及び流入量は次第に減少し、29日12時56分には洪水量の150m³/s以下となり洪水調節を終了しました。

総雨量は、309.4mm(26日17時～29日13時)で、時間最大雨量は、31.8mm(29日6時)でした。

今回の洪水調節により、下流河川(明碓橋地点)において、河川水位を約0.18m低減させたと推測しています。



問い合わせ先

大分県 土木建築部 河川課 ダム・海岸班

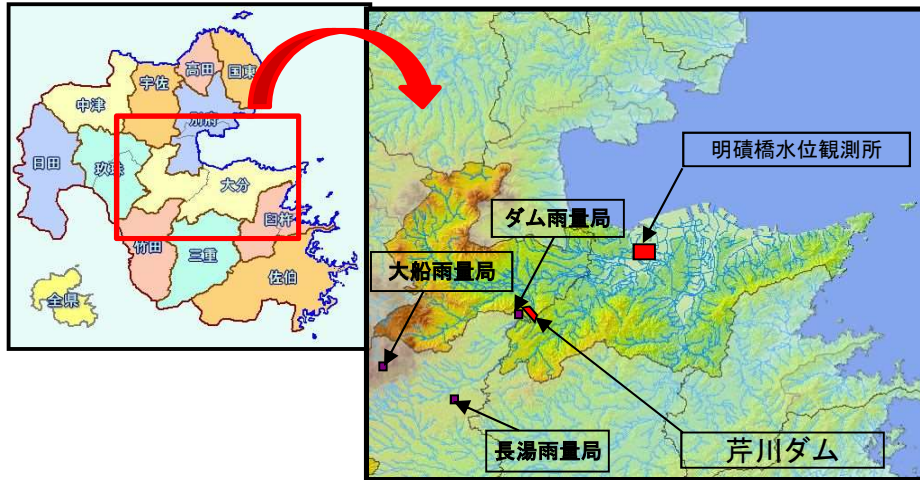
電話 (097)506-4596(直通)

大分県 芹川・北川ダム管理事務所 芹川ダム管理支所

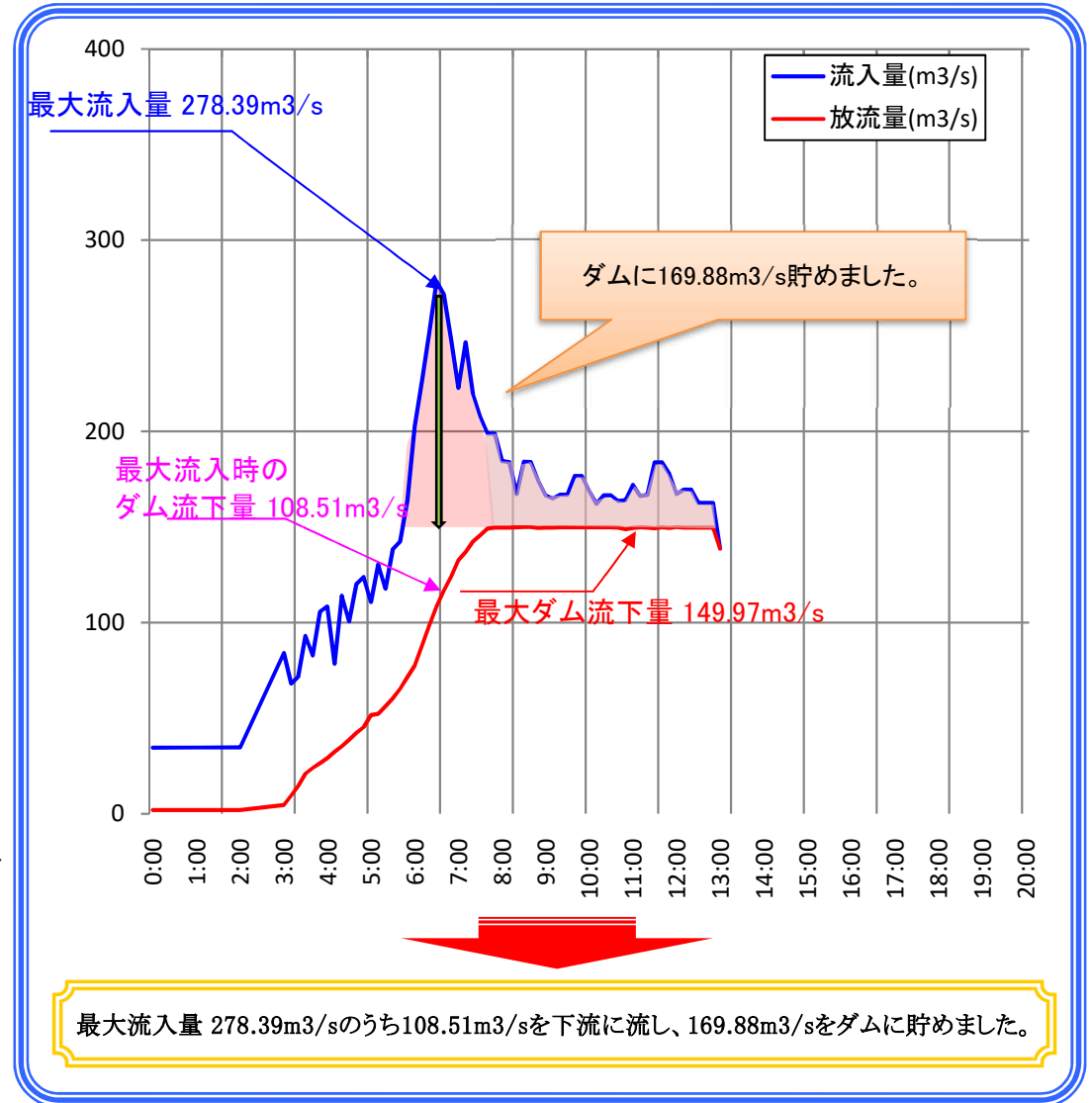
電話 (097)597-6890

令和6年8月26日 ~ 29日の梅雨前線豪雨の影響による 芹川ダム洪水調節の効果について

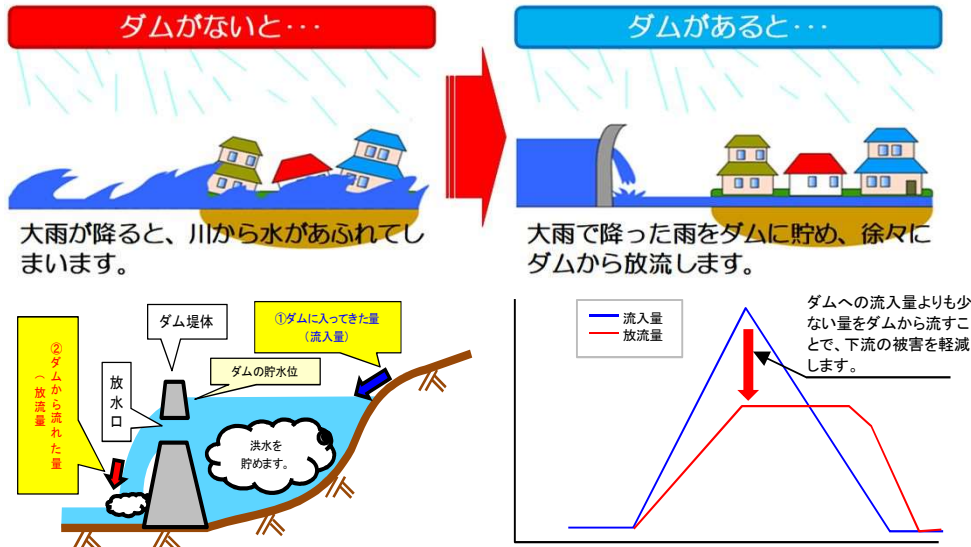
【芹川ダム位置図】



【防災操作実績図(速報値)】



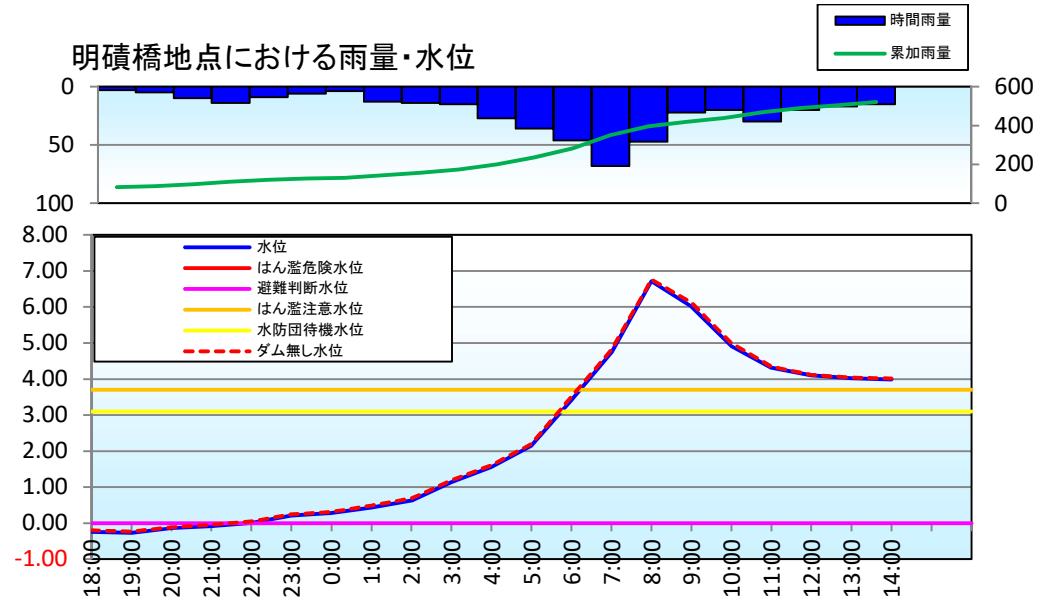
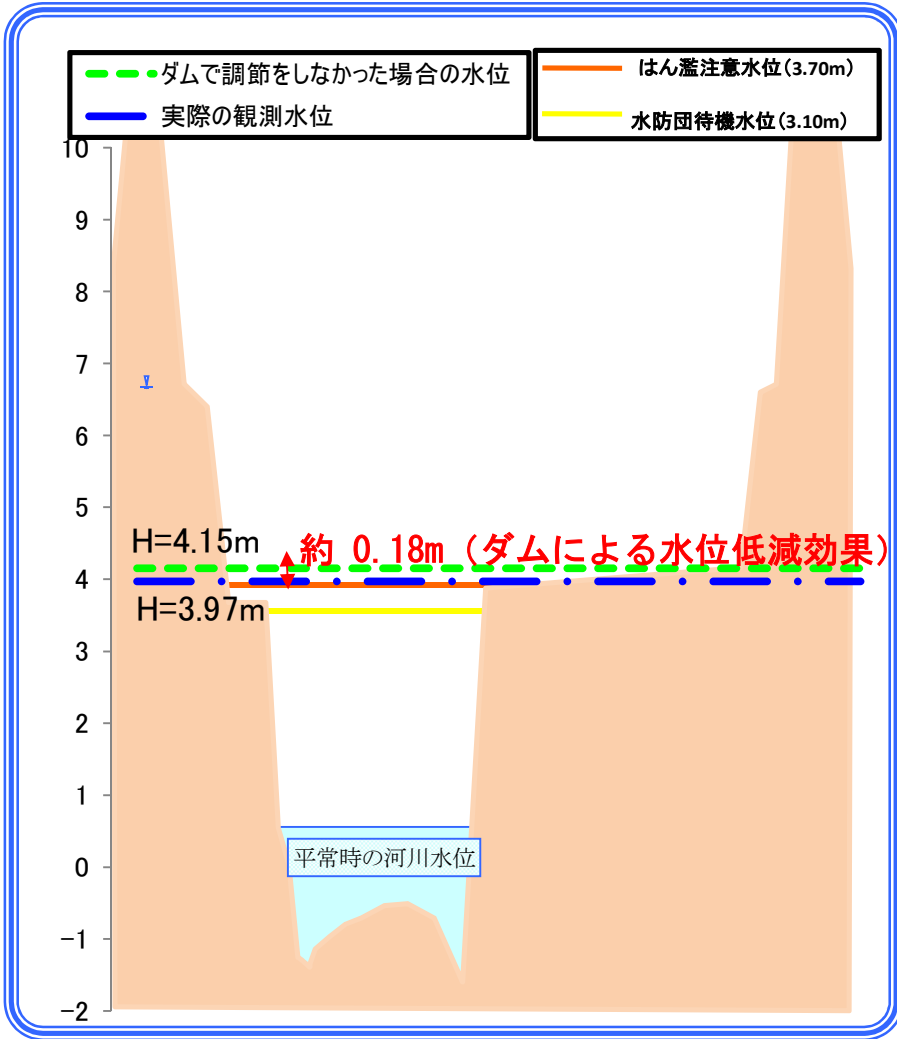
【ダムの治水効果】



最大流入量 278.39m³/sのうち108.51m³/sを下流に流し、169.88m³/sをダムに貯めました。

令和6年8月26日 ~ 29日の梅雨前線豪雨の影響による 芹川ダム洪水調節の効果について

【 大分市大字奥田 明礮橋地点の河川水位比較 】



(ダムで調節をしなかった場合の水位はおおよその推定です。)

ダムによって 18 cm の水位低下

